



つばさっ子

2012年 4月号

❀❀ はじめまして『つばさっ子』です ❀❀

『つばさっ子』とは1ヶ月間の園での様子を知らせるお便りです。

以下のことを伝えることができればと思っています・・・・・・。

- ① 子どもの世界を理解してもらう＝大人の感覚では理解不可能なことを子どもはやらします。子ども理解が進めば誤った見方、過度な心配、不安が解消できると思います。
- ② 子どもの発達の特徴を理解してもらう＝子どもにはその年齢の発達の特徴があります。
それを理解すれば慌てることなく子どもに対応できると思います。
- ③ わが子理解、よその子理解をしてもらう＝わが子の特徴を知るとわが子との付き合い方がわかります。他人の子どもを知ることで偏見が克服できます。

子どもは色々な影響を受けながら成長します。もちろん親の影響が大きいと思いますが、友達や保育士や周囲の大人の影響も大きいのです。子育てを親だけで抱え込むと確実にしんどくなります。特に対応に悩む、わが子ながら手がやける、この子には疲れると感じている保護者の方は「みんなと一緒に育ててもらおう」と考えてみて下さい。オープンな気持ちになるととっても楽になると思います。子どもはみんな一人ひとり違います。だから保育士も対応に悩みます。職員、保護者が共に力を出し、支え合って子育てしていきましょう。そのきっかけづくりのための『つばさっ子』です。大いに活用していただければと思います。

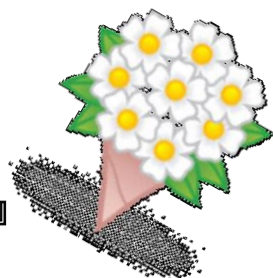
❀❀ 今月の行事 ❀❀

4月29日(日)

10時から11時30分

開園記念式典

『つばさホール』



あらためまして自己紹介

市原 悟子

私にとって保育園づくり三か所目になります。子育てに例えると三人目の子育てとなります。わけがわからない一人目のアトム共同保育所時代、二人目はアトム共同保育園一人目の体験を活かして少し楽でした。そして三人目のつばさ共同保育園は楽しみながらよりよい保育園作りができればと思います。

『大人も子どもも安心できる場』 こんな保育園にしたいと考えています。

日報を5歳児まで使用するのも、「つばさっ子」を毎月発刊するのも、懇談会の回数が多いのも人は一人ひとりみんな違うということを前提にして違いを理解するためです。大人が安心すると子どもも安心します。大人が不安でいると大人の不安は子どもに伝わります。大人同士がお互いのことをよく理解して安心できる関係を作っていきたいと思っています。

『大人の知恵と力を合わせて子どもたちの為に良いものを作りましょう』

園庭の遊具、砂場はまだ作っていません。子どもの遊ぶ様子、動きを見てどこの場所にどんな遊具を置けば良いのか判断したいと思います。業者に頼めば簡単ですが、「メンドクサイ」ことをみんなですることのメリットは大きいのでぜひ手作業でと考えています。

ご協力よろしくお願い致します。

『園における集団生活のメリット、デメリット』

わが子を他人に委ねるには覚悟が必要です。最大メリットは親や大人が体験させてあげられない子ども同士の遊びの体験です。二番目に親以外の大人との関わりです。他人の大人が自分を大切に思ってくれる実感は人生にも影響します。もちろん職員だけでなく友達のお母さん、お父さんも含まれます。自分を大切に思ってくれる人が一人でも多くいた方がより幸せだと思いませんか。デメリットは伝染病に感染しやすい。ケガをする。この2点です。

部屋には空気清浄器を設置します。うがいや手洗いなど感染予防に気を付けます。

多人数の生活の場所なのでケガのないように細心の注意をはらいますが大人の予想外のことも起こります。集団生活にはメリットだけではなくデメリットもあると覚悟していただけたらと思います。

4月は子どもも大人も初めての場所で、初めての出会いです。

子どもは保育室に慣れるにも、担任に安心するまでにも時間がかかると思います。食事が食べられない。午睡できないとかの状態が続くと体調を崩すことも予想されます。慣れるまではできるだけ早くお迎えに来てあげてほしいと思います。

職員と保護者の関係も慣れるまでお互い緊張した雰囲気が続くことと思います。私をはじめ職員も至らない点が多々あると思いますが、厳しく批判するばかりでなくどうぞ職員を育ててあげるくらいの気持ちでお願い致します。どうぞよろしくお願い致します。